

わが家の風水害対策 ①



集中豪雨・台風

集中(ゲリラ)豪雨は短時間に非常に激しい雨が局地的に降るため、道路が舗装された都市部では、川の急激な増水、道路冠水や浸水といった被害が発生します。
台風は、大雨、洪水、暴風をもたらし、川のはん濫やがけ崩れなど、人々の生活や生命が脅かされるような被害が発生します。



雨水出水(内水)はん濫

大雨により、降った雨が河川等へ排水しきれなくなり側溝・下水道や排水路から水があふれて建物や土地・道路が水につかってしまうことを「雨水出水(内水)はん濫」といいます。

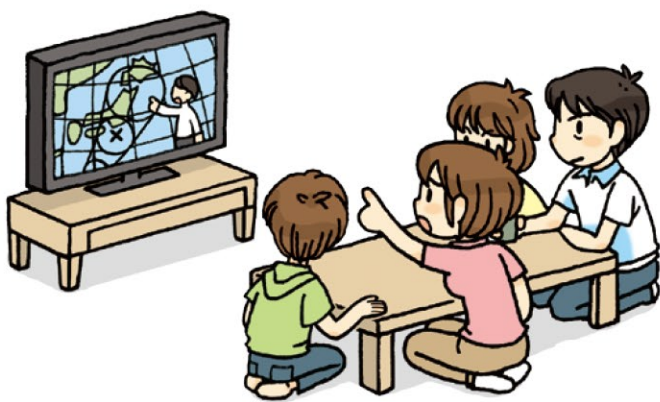


早めの避難、安全な避難行動を心がけましょう！

台風や集中豪雨では強風や激しい雨が降るため、家屋への浸水、河川のはん濫、土砂災害など様々な被害が想定されます。危険箇所(裏面マップ「洪水浸水想定区域」、「土砂災害(特別)警戒区域」)の事前チェックと、早めの避難行動、危険が迫ったときの対策を知っておきましょう。

最新情報を常にチェック

台風や突然の豪雨等が発生した場合、進路予測や被害想定など正しい情報をテレビ・ラジオ・インターネットなどで収集しましょう。
また、すぐに対応できるように避難準備をしておきましょう。



浸水が始まる前に避難

自分が住んでいる地域や近くの川の上流で、豪雨や長雨がが続いている場合は要注意です。特に、高齢者や障がいのある方など避難に時間がかかる方は、早めに避難することが大切です。



暗くなる前に避難

大雨が予想されるときは、明るいうちに避難しましょう。昼間でも冠水している道路は、深さがわからず、またマンホールや側溝のふたが外れていることもあり危険です。傘や棒などで地面を確認しながら歩きましょう。



災害などで発令される避難情報(気象庁と大和市より発表・発令)

どのタイミングで避難を開始するかは非常に重要な判断です。風水害等の発生が予想される場合、状況に応じて以下の警戒レベルに応じた避難情報が発令されます。避難情報に注視し、身を守る行動を取りましょう。

特に、避難に時間のかかる方(高齢者や障がいのある方、妊婦や乳幼児など)は時間に余裕をもって避難を始めてください。

危険が予想される場合は避難情報を待たずに自らの判断で避難しましょう！

